

2022年6月3日 第3387回例会

於： 横須賀商工会議所



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

<点鐘・開会> 12:30 八巻 会長

<斉 唱> 「君が代」「奉仕の理想」

<唱 和> 「四つのテスト」

<ゲスト紹介> *米山奨学生 王 冠 博 様

<ビジター紹介> *横須賀北ロータリークラブ 社会・国際奉仕委員長 芹 澤 達 之 様

*三浦ロータリークラブ 社会奉仕委員長 鈴 木 康 仁 様

*横須賀西ロータリークラブ 会 長 坂 倉 真 人 様

*横須賀西ロータリークラブ 幹 事 嘉 山 賢 様

<誕 生 月 祝> *勝 間 佳 枝 (S. 8.6. 1) *植 田 威 (S. 34.6. 1)

*山 田 晴 史 (S. 36.6. 1) *織 茂 明 彦 (S. 28.6. 8)

*三 浦 寿 夫 (S. 51.6. 9) *加 藤 淳 (S. 37.6. 18)

*齋 藤 眞 且 (S. 28.6. 19) *笠 木 英 文 (S. 22.6. 23) 各会員

<入 会 月 祝> ・江 沢 暁 彦 ・五十嵐 俊 男 ・勝 見 慎 一 ・山 下 和 男

・鈴 木 孝 博 ・八 木 達 也 ・久保田 英 朗 ・渡 邊 磨

・前 川 静 子 ・鹿 島 勇 ・木 村 一 郎 ・加賀本 好 美

・松 本 明 弘 ・中 村 清 乃 ・畑 宏 明 ・来 生 亮

・加 藤 淳 ・馬 場 亮 ・三 浦 寿 夫 ・大 野 健 男

・岡 田 圭 太 ・須 藤 龍 一 ・山 田 哲 也 各会員

<会 長 報 告> *第1グループ合同奉仕デー10,000メートルプロムナードクリーン作戦について

・詳細は6月3日(金)午後 FAXにて各会員へ送付予定

<委 員 長 報 告> *雑誌委員長 福西委員長よりロータリーの友6月号について

・次年度より、特別月間(雑誌月間)が4月から9月へ変更となり、ロータリーの友月間として新設となる

・次年度はロータリーの友が70周年を迎える

*出席委員会 猿丸副委員長より5月出席報告 5月分平均出席率 77.19%

	会員数	出席対象者数	出席数(ZOOM出席数)	欠席数	メークアップ数	出席率
5月 6日	114名	105名	75名(7名)	30名	6名	77.14%
13日	115名	103名	70名(6名)	33名	5名	72.82%
20日	115名	109名	88名(7名)	21名	2名	82.57%
27日	115名	101名	72名(5名)	29名	5名	76.25%

<幹 事 報 告> *日米音楽の祭典 9月11日(日)15時～ 横須賀芸術劇場にて開催

・第13回米海軍第7艦隊バンド&横須賀交響楽団

フレンドシップコンサート アメリカン・サウンド・イン・ヨコスカ

*第1グループ合同奉仕デー10,000メートルプロムナードクリーン作戦
慰労会について

・6月5日(日)13:00～15:00

米が浜通 ピッツェリア セッテにて開催予定

*2021-2022年度 最終例会について

・6月24日(金)メルキュールホテルにて 18:00点鐘

<出 席 報 告> *出席委員会 猿丸副委員長より6月3日の出席報告

会 員 数	出席対象者数	出席数(ZOOM出席数)	欠 席 数	メークアップ数	出 席 率
115名	102名	78名(12名)	24名	4名	80.39%

<ニコニコ報告>

- ・芹澤達之様(横須賀北RC) 本日はよろしくお願ひいたします。
- ・鈴木康仁様(三浦RC) 本日もよろしくお願ひ致します。
- ・坂倉真人様(横須賀西RC) 本日、お世話になります。
- ・嘉山賢様(横須賀西RC) 今日は奉仕デーで参りました。宜しくお願ひいたします。
- ・会長、幹事 米山奨学生 王冠博様ようこそお出で下さいました。例会をお楽しみください。
- ・佐久間、瀬戸、澤田、小山(囃) 各会員 本日のゲスト・米山奨学生王冠博様、お忙しい中、例会への参加ありがとうございます。ごゆっくりお寛ぎください。
- ・会長、幹事 横須賀北RC芹澤達之様、三浦RC鈴木康仁様、横須賀西RC坂倉真人様、嘉山賢様、ようこそお出で下さいました。例会後の打合せもよろしくお願ひいたします。
- ・高橋、新倉(飽)、長尾 各会員 本日のビジター、横須賀北RC芹澤達之様、三浦RC鈴木康仁様、横須賀西RC坂倉真人様、嘉山賢様ようこそお越し下さいました。例会をお楽しみください。
- ・植田、山田(囃)、三浦、加藤(飽)、齋藤(飽)、笠木 各会員 誕生月祝いとして
- ・勝見、八木、前川、木村、松本(囃)、加賀本、中村(飽)、加藤(飽)、大野(飽)、岡田(咄)、三浦、須藤 各会員 入会月祝いとして
- ・会長、幹事 本日の新会員卓話 田中由紀子会員、大野健男会員よろしくお願ひいたします。今年度最後の新会員卓話です。楽しみにしています。
- ・角井、比護、三浦、大石、小山(咄)、長谷川、兼城、岡田(咄)、石田、梁井、椿、杉浦、木村、福西、高橋、田村、新倉(飽)、松本(囃)、中村(飽)、濱田、新倉(飽)、岩崎、植田、猿丸、鈴木(咄)、江口、加賀本、勝見、若麻績、齋藤(飽)、上林、澤田、笠木、前川、小林(-)、根岸、齋藤(咄)、杵渕、南、藤村、八木 各会員
本日の卓話に田中由紀子会員、大野健男会員が登壇します。久しぶりの新会員卓話ですが、どんなお話を披露して頂けるか？楽しみにしています。
- ・田中(咄) 会員 本日、卓話をさせて頂きます。少し緊張しておりますが精一杯努めさせて頂きます。
- ・大野(飽) 会員 今日は新会員卓話をさせて頂きます。温かい目で見守って頂けると幸いです。
- ・5番テーブル田邊マスター、田村サブマスター テーブルMTGにご参加頂いた三役、小山SAA、兼城副SAA、三宅さん、5番テーブルの皆様有難うございました。
- ・田邊5番テーブルマスター 5月31日に甲羅本店にて開催いたしましたTMでは高橋隆一会員に大変お世話になりました。有難うございました。
- ・角井、立石、田中(咄)、椿、高橋、徳永、兼城、小山(囃) 各会員
今週31日(火)5番テーブルミーティングを田邊テーブルマスター、田村サブマスターの下、甲羅本店にて執り行われました。総勢17名の満員御礼の中、美味しい食事とお酒で親睦の輪の中楽しく過ごさせて頂きました。
- ・山田(囃)、三浦、八木、小山(囃) 各会員 先週の27日(金)8番テーブルミーティング、ダイニングおおしまで美味しいフレンチを頂きました。物井テーブルマスター、渡邊磨サブマスターには大変お世話になりました。久しぶりの集まりでみんな和気あいあい楽しめました。
- ・長谷川 会員 6番テーブルの会合ありがとうございました。先週出し忘れしました。ホテル内覧会とても楽しかったです。
- ・加藤(飽)、北村、福西、高橋、新倉(飽)、小平、植田、前川 各会員
6月5日(日)は第1グループ奉仕DAYです。1万メートルプロムナードクリーン作戦は今までにない盛り上がりになると思います。進次郎代議士の卓話も楽しみです。

昨年5月に岡田英城会員と、田村会員のご紹介で「横須賀ロータリークラブ」に入会させていただきました、田中です。本日は「卓球と私」というタイトルでお話をさせていただきます。

卓球との出会いは小学2年生で1番上の姉の担任の先生が卓球の指導者として有名な方で、私の両親に「妹の由紀子に卓球をさせてみないか」と話がきました。家の周りにレジャーがない私は遊び感覚で高学年の小学生や中学生に囲まれて週に1～2回のペースで部活に参加をしていました。

はじめての大会は全国大会の県予選でした。あと1回勝てば全国大会に行けるというところで負けてしまいました。その事で私の卓球魂に火がつき、ピアノやそろばん等の習い事を全て辞めて、卓球の塾に通わせてほしいと両親に懇願しました。それから毎日部活が終わったら卓球スクールに通い22時まで練習をするという生活を続けました。小学生の最高の結果は全国3位となります。地元の中学校に上がってからもその生活は変わりませんでした。加えて父の地獄のトレーニングが始まりました。朝の通学時に父が運転するトラックにカバンを乗せ片道5キロある農道を毎日ひたすら走り続けました。苦しそうな顔をすると父が後ろからトラックで轢くそぶりをするので全く休めませんでした。中学2年生からは中国出身の方でソウルオリンピックダブルス金メダリストの偉晴光さんに師事し、週に1度往復3時間かけて個人レッスンを中学卒業まで受けていました。両親には車で送り迎えや、レッスン代、遠征費など捻出をしてくれた事に変な感謝しています。

高校は熊本県の卓球の強豪校にスポーツ特待生として入学し3年間親元を離れ寮生活を送りました。1年生、2年生、3年生の縦割りの3人部屋で1年生は奴隷、2年生は平民、3年生は神様という身分制度がありました。1番思い出に残っている大会前の正座とスポーツ刈りという謎の伝統の話をしをします。部活の係などのミスがあると1年生は連帯責任として部屋の前で正座をします。先輩が「いい。」というまで正座をしなければならないので、試合中はフラフラなことが多々ありました。そして県のインターハイ予選前は何故か1年生はスポーツ刈りをするという伝統もありました。これは試合会場で男子生徒に色目を使わないようにするという事で試合前は美容院ではなく床屋に行っていました。体はフラフラ、頭はこち亀のりょうさんばりの髪型で散々でしたが、県の大会では1年生の時にインターハイ予選の決勝で負けただけで、それ以外は社会人相手も含めて3年生まで熊本県では一度も負けたことがありませんでした。ちなみに試合前の正座と、スポーツ刈りという謎の伝統は私が3年生の時に廃止をしました。大学は中央大学にスポーツ推薦で入学し、そこでも寮生活を送りました。1年生の時に関東学生新人戦という個人戦の大会がありそこで3位というまあまあな成績を残したのですが、中央大学は関東学生リーグ、全日本学生団体共に最多優勝校でありましたので、その3位の結果を残しても1年生の時には試合のベンチにも入れませんでした。それまで小、中、高とレギュラーでないことがなかった私は疎外感で一時は腐りかけましたが、田舎の両親が今までかけてくれた思いを無駄にはできないと自分を奮い立たせ、目標はレギュラーではなく、絶対的エースと決め自分をいじめ抜きました。なぜレギュラーではなく、絶対的エースを目指したかという、単なるレギュラーでは試合で負けた時に他の選手と簡単に変えられてしまいます。絶対的エースは試合で負けてしまっても、「たまたま調子が悪かったんだ」と判断されず使ってもらえます。そして中央大学で絶対的エースであれば、全日本学生の中でトップ中のトップということになります。私は2年生からレギュラーになり試合に使ってもらえるようになり3年生の時にインカレで優勝しました。大学での主な結果は関東学生リーグ戦1部で3度優勝、インカレ優勝、海外遠征ではウェールズオープン3位です。私は高所恐怖症で飛行機がとても苦手です。高校生までは大会や海外遠征など飛行機に乗る時は怖くて泣いておりました。成人してからは、お酒を飲んで、気絶した状態で飛行機に乗っていました。高所恐怖症でなければ卓球でもっといい成績を残せていたと思っています。大学を卒業して実業団の東芝メディカルシステムズという会社に入り、仕事と卓球の両



立を目指しましたが、大学で燃え尽きてしまったのと、小学2年生で始めた卓球ですが、本来はそれでも競技者としてはスタートが遅くもうこれ以上上にはいけないという思いから、25歳で引退をしました。その頃働きながら休みの日にはコーチをやっていたのですが、有名な方ですと、デザイナーのコシノジュンコさんなどのコーチをしていました。卓球は競技人口が3億2000万人でバレーボール、バスケットボールについて世界3位です。日本での競技人口は35万人で卓球愛好者は120万人です。人とぶつかることもなく怪我も少ない安全なスポーツです。

VIRGOを立ち上げたのは7年前です。本店は衣笠の平作にある城北小学校前にあります。私の星座である乙女座のヴィルゴと、ビクトリーロードGOやビクトリーランGOの語呂合わせでこの会社名にしました。現在は神奈川の他に北海道、埼玉、東京、大阪の全12拠点で卓球のスクールを行なっております。最近シニア層の健康寿命対策としてストレッチと卓球をセットにした健康卓球教室を開設しました。この教室は初心者でも楽しく上達できストレッチと体操で発刺と日常生活をおくるのが目的で、コーチの中には卓球療法士の資格取得者もいます。他に、物販、コーチ派遣、試合、合宿の企画、企業案件もやっています。趣味は特にありませんが、たまにキックボクシングをやっています。最後に、引退して約20年になりますが、まだ少しは動けるところをお見せします。

<新会員卓話 2>

大野健男 会員

2021年6月に入会させて頂いた大野健男です。生年月日は1985年7月12日(36歳)丑年で、生まれも育ちも横須賀です。血液型はB型です。趣味はゴルフ(始めたばかりで、かなり下手です)目標は1年以内に100を切る事です。仕事は機能訓練型デイサービス、認知症対応型グループホーム、ケアプランセンター、鍼灸・接骨院、訪問マッサージ等の事業を運営しています。私はこの仕事に感謝をしています。なぜならば、この仕事を通して自分自身が成長出来たからです。幼少期の頃は人見知りで目を合わせて挨拶する事が苦手でした。そんな私が「直接的に人の役に立つ仕事がしたい」と思うようになり、父がこの事業をしていた事もありこの道に進む事を決めました。専門的な知識や技術もそうですが、サービス業の側面もあるため、人間性が大切になります。昔、仕事の先輩方からは良くこう言われていました。「お前はセンスがないからこの仕事は向いてない、辞めた方がいいよ。」何度も言われたので、かなりショックでした。今思えばこういった言葉をかけて頂いたから、今の私があるのだと思います。そして何よりも、子供から高齢者まであらゆる年代の方々に対して仕事をさせて頂き、たくさん学ばせていただきました。ここで、仕事のエピソードを1つお話したいと思います。ある、ご高齢の方からリハビリを担当してほしいと依頼があったので、ご自宅に伺いました。初めて伺った際にまず言われたのが「リハビリなんか頼んでない!年寄を食べ物にするな!帰れ!」でした。衝撃的でした・まさかそんな事を言われるとは夢にも思っていなかったので。認知症を患っている方ではなかったですし、腹の虫の居所が悪かったのか、それとも担当する私が若かったからなのか原因は定かではありません。私自身、このまま引き下がるのは悔しかったので、「自分がやれることをやろう!それでダメなら仕方ない!」と思いつく訪問しました。すると心を開いてくれるようになり「あんたが担当でよかった、ありがとう」この言葉が聞けた時は本当に嬉しかったです。地域にねぎし、いつまでも必要とされる企業であり続けられる様、これからも努めていきたいと思ひます。



今日は少しプライベートな話をさせて頂きたいと思います。皆さんは「小確幸」という言葉をご存じでしょうか？漢字は小さい確かな幸福と書きます。私は日々、過ごしていく中で「小確幸」というのを大切にしています。なぜ、私がそう思うようになったかエピソードをお話ししたいと思います。

以前、私は今よりも約20kg太っていました。お酒を飲むのと、美味しい物を食べる事が好きでした。ある日の夜、急にお腹が痛くなる事件が起きました。「今までに感じた事のない痛みだ！」焦って電話をして、病院を探しました。向かった先は某市民病院。病院に着いた頃には痛みで歩けなくなってしまったので、生まれて初めて車椅子に乗りました。病院での検査結果は「急性虫垂炎」いわゆる盲腸です。先生からレントゲンを見せて頂きましたが、腹部の部分が真っ白になっていました。私は「先生、数時間後には仕事があるので薬でなんとかしてもらえませんか？」と尋ねた所、先生は「大野さん、そんな事言っている場合じゃないよ。すぐに手術しないと、かなりひどい状態だよ。」と言われました。私自身、健康には自信があったので、「えっ？俺が手術？いやいや何かの間違いでしょ。勘弁してよ、仕事だから帰らせてよ・・・」と心の中で思いました。そう思っているとお腹の痛みは強くなる一方で結局、人生で初めて手術をうけました。術後の入院生活がスタートし、私からすると入院生活は苦痛でした。テレビを見て笑えばお腹は痛いので、この時ばかりは大好きな芸人の出川哲郎さんを恨みました。(笑)自由もなく、色々と制約もあるのでとにかく早く退院をしたいと強く思いました。足腰が弱くなったらいけないと思い、廊下で点滴台を押しながらグルグルグルグル歩行訓練をしていました。当たり前ですが、入院生活の中で感じた事は「健康ってやはり大事だな」という事。人にとって「健康は資本だな」と本当に痛感しました。退院をしてからある決心をしました。「100%は無理かも知れないが、もう手術も受けたくないし、入院もしたくない。自己管理をして病気になる確率を少しでも下げよう」それからは自分で運動療法と食事療法をはじめました。減量中に私の中で、あるルールを作りました。「週に1回は自分を解放して、好きな物を食べよう！」俗に言うチートデイです。目標は1年半ぐらいをかけて、じっくりとしっかりと落としとしていこうと決めました。運動に関しては、ウォーキングと筋トレ。ウォーキングは一日最低1時間。筋トレは足、お尻、体幹、背中、胸と大きい筋肉をローテーションで行いました。食事に関しては、たんぱく質と野菜をたくさん摂取する様に心がけました。先程お話ししたチートデイの時は自分が本当に食べたい物を食べていたので本当に幸せを感じていました。今、思えばこれが「小確幸」に気づく始まりだったのかも知れません。私の経験談ですが、体が変わってくると物事に対する考え方や感じ方も少しずつ変わってきました。「健康な事」「仕事ができる事」「生活が出来る事」などなど上げればたくさんの方があります。「大切な事はいつも当たり前の中にある」と気づく事が出来ました。私の中では、大切な事に気づく大きな転機でした。ロータリーで言えば、例会に来て皆さんと顔を合わせ、挨拶をし、たわいもない話や真剣な話。たくさん「小確幸」があると思います。皆さんも、日々色々なストレスと戦ってらっしゃると思います。大きな目標に向かう長い旅路の中で日常の中の小さな幸せを、皆さんにも見つけていただけたら幸いです。

最後に私で言えば・・・ゴルフの話になりますが、午前のラウンドが終わり、お昼に飲む生ビールは完全に最高の小確幸です。(笑) 以上になります。皆様、ご清聴有難うございました。

<閉会・点鐘> 13:30 八巻 会長

週報担当 岡田 圭太